



目次

緊急レポート ルワンダ緊急援助アピール	1
ルワンダ難民救済募金の件	2
『KGAレポート』いよいよ"アンダーハンディキャップ競技"が実現	3
平成6年度 関東グランドシニアゴルフ選手権競技	6
平成6年度 関東女子ゴルフ選手権決勝競技	9
平成6年度 関東アマチュアゴルフ選手権競技	13
ジュニアゴルフスクール	16
平成6年度 関東倶楽部対抗決勝競技	18
新規加盟倶楽部紹介、ホールインワンしたらチャリティしよう	26
分科委員会	27
月例競技成績表、お知らせ	28

表紙photo ガーデンゴルフ倶楽部(撮影・片山晴美/KGA広報委員)

 関東ゴルフ連盟

ルワンダ緊急援助アピール

KGAは、1992年より「関東オープン」をチャリティ・トーナメントとし、国連難民救済のための募金活動を行なっておりました。

この事は大きな反響をよび、全加盟倶楽部、一般ゴルファー、ギャラリー、参加選手、賛同企業より多額のご寄付をいただきました。UNHCR(国連難民高等弁務官事務所・緒方貞子高等弁務官)には、1992年2,098万円、1993年1,824万円をさしあげております。

今年もひきつづき募金活動を行なっておりますが、今年度はUNHCRの「ルワンダ緊急援助アピール」(7月27日)に応えることとしました。(※使用目的を指定して寄付することができます。)

ルワンダの惨状については連日、新聞、TVによ

って報道されておりますが、180万人を越える難民、避難民は“飢え”と“病い——コレラ——”に苦しんでおります。

政府は緊急に2,900万ドルの援助金を拠出することを発表いたしましたが、KGAとしてもこれまで以上の寄付をいたたく、皆様にご協力をお願いする次第です。金額につきましては、9月4日正午(関東オープン最終日)までに寄せられた全額を考えております。

なお、7月29日には中条ゴルフ倶楽部(新潟県、NSTオープン会場)にて、斎藤文志郎常務理事が記者会見すると同時にマスコミ各社に次頁の声明を送付いたしました。

(関東ゴルフ連盟 広報委員会)

ルワンダ緊急援助アピール

1994年7月27日

かつてない規模のルワンダ難民流出という緊急事態に対処しむため、援助資金のご支援をお願いいたします。UNHCRは、援助物資を届けるため、サラエボの危機以来の大がかりな空輸作戦を開始しました。

国連難民高等弁務官(UNHCR)駐日事務所では、次の郵便振替口座にて募金を受け付けております。

口座番号: 00130-4-59734

口座名: UNHCR

通信欄に「ルワンダ難民援助」とご記入ください。

お問い合わせ先: UNHCR広報室 (TEL.03-3475-4882)

ルワンダ難民救済募金の件

関東ゴルフ連盟では、1992年より国連難民救済のための募金活動を関東一都十県のゴルファーに呼びかけ行なってきたが、今年の募金目的を、現在最も深刻な状態にあるルワンダ難民救済募金として国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）に寄金する事に決定した。

具体的には、加盟459俱楽部フロントに設置してある募金箱による一般ゴルファーからの募金と、9月1日から始まる関東オープンゴルフ選手権（都賀カンツリー俱楽部）のギャラリーからの寄金及び賞金の一部を参加選手より提出して貰い寄金する。

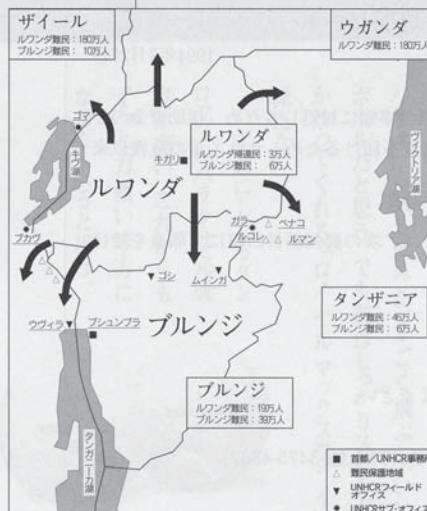
参考

UNHCRに対する寄付額
1992年 2098万円
1993年 1824万円

関東ゴルフ連盟（理事長 細川謙貞）

関東一都十県を統括するボランティアによるアマチュアゴルフ団体
関東オープン 関東アマチュア等各種選手権を主催する

問い合わせ先 国連難民高等弁務官駐日事務所
TEL.03-3475-1615
関東ゴルフ連盟
TEL.03-5275-0391



いよいよ“アンダー・ハンディキャップ競技”が実現

語り手・尾閑秀夫（KGA競技委員長）

聞き手・塙田一正（KGA広報委員）

写真・片山晴美（KGA広報委員）

いま関東ゴルフ連盟では、新しい競技会のプランが進んでいる。アンダー・ハンディキャップ競技がそれで、文字通りハンディキャップを引いたネット・スコアで優勝を争うという画期的な競技会である。ゴルフは昔からハンディキャップのもとで、老若男女が公平にプレーを楽しむことができるスポーツといわれてきただけに、この競技は幅広いプレーヤーのニーズに応える競技会として各方面から注目されている。新設アンダー・ハンディ競技がどんな目的で設立され、どう実施されていくのか、そのへんを尾閑秀夫競技委員長に聞いてみた。

——今度関東ゴルフ連盟では、新たに「アンダー・ハンディキャップ競技」という種目を企画していると伺いましたが……。

尾閑 ええ、まだ具体的に決まったわけではないのですが、たしかに関東ゴルフ連盟としては、競

技の充実という点で、そのような競技の具体化に力を注いでいます。なにしろ、時代も変わってきていますし、ゴルフ人口も大変な伸び方を見せていています。関東ゴルフ連盟も競技団体として、こうした変化についていかなければなりませんし、プレーヤーの幅広いニーズに応えていかなければなりません。そういう意味で、いま早急に考えなければならないのが、いまいった競技の充実という点だと思います。

ごく自然な発想

——では、アンダー・ハンディキャップ競技といいうのは、どんな性格をもった競技なのでしょうか。

尾閑 ずばりハンディキャップのもとで行われる競技と思っていただいて結構です。

——これまで、いわゆるスクランチの選手権競技ばかり主催してきたのに、なぜ、アンダー・ハンディキャップ競技に注目されたのでしょうか。

尾閑 たしかにこれまで選手権競技ばかりやってきました。しかし、さきほども申し上げたとおり、現在は昔とは違ってプレーヤー層も厚くなっ



尾閑競技委員長

ております。そして、ゴルフは昔からハンディキャップのもとに老若男女一緒になって楽しめるスポーツともいわれてきています。現在のゴルフ人口の増加、それにスポーツでは唯一ともいえるハンディキャップのもとでともにプレーできるという長所を考え合わせると、アンダー・ハンディキャップ競技という発想が生まれるのも、ごく自然だと思いますが……。

——それにアンダー・ハンディキャップ競技の基盤となる、「JGAハンディ・システム」もかなり広範囲に採用されてきていると思いますが。こういう点も、アンダー・ハンディキャップ競技の引き金になったといえますか。

尾閑 もちろんです。現在、関東ゴルフ連盟でJGAハンディキャップを実施している倶楽部は401倶楽部もあります。これだけの倶楽部がJGAのハンディキャップ・システムを探り上げているのですから、そうした会員のみなさんからも、アンダー・ハンディキャップ競技は意義のある競技会として支持してもらえるものと思っています。

——また、こうした競技を通して、JGAのハンディキャップを採用するところが、そうとう進むと見てもいいですね。JGAハンディキャップのもとで公式競技が行なわれるわけですから、このハンディキャップ・システムが、さらに権威を増し、普遍的なものになると期待しています。

平成7年10月を目指す

——では、具体的にこのアンダー・ハンディキャップ競技をどう実施していくのでしょうか。

尾閑 期日は平成7年の10月下旬から11月上旬にかけてというところを目指しています。ことしからグランド・シニアを5月に移しましたので、9月の第4週には関東ゴルフ連盟関係の全競技が終了します。そんなことから10月下旬～11月上旬という時期が浮かび上がってきたわけです。

——出場資格がJGAハンディキャップ・システム

を採用している倶楽部の会員に限るわけですか。

尾閑 ええ、そうなります。

——どんな方法で最終競技までもっていくのでしょうか。

尾閑 まず第1次予選は参加各倶楽部内でやってもらうことにします。

——特別にこの競技のための予選会のようなものをやって出場選手を決めるのですか。

尾閑 それも一つの方法でしょうが、とにかく、その方法は各倶楽部におまかせしたほうがよいのではないかと思っています。例えば各月例競技の中から選ぶとか、月例競技の年間上位選手とかというやり方もあると思いますが、こうした選抜方法は倶楽部に一任ということです。

——そこでこの第1次予選では何名くらいが選ばれるのでしょうか。

尾閑 各倶楽部とも男子4名、女子2名というのが案です。したがいまして、参加倶楽部が300倶楽部と踏んで、第1次予選通過者は1800名くらいになるのではないかでしょうか。

——単純に各倶楽部から男子4名、女子2名を選ぶんですか。

尾閑 まだそのへんははっきりとしていません。単純に6名選ぶということを考えられますが。また、そのほかの案としては、男子の場合、Aクラス、Bクラスに分けて各2名ずつという線もあります。これから検討課題だと思います。

——第1次予選というのは各倶楽部ごとにというのはわかりましたが、第2次予選はどこで、どのくらい選ばれるのでしょうか。

尾閑 まだ、もちろんそれも案の域を出ていませんが、開催は県単位か、ブロック単位ということになるだろうと思います。

——そうなると参加倶楽部の多い県と、そうでない県が出てきますが、その場合の予選通過者の比

った人の競技であるという点が画期的だと思います。

尾閑 いろいろ解決しなければならない点があるのですが、ここはとにかくスタートさせようと。スタートさせてから一つ一つ問題を解決していくこうと思っています。

——ところで、このアンダー・ハンディキャップ競技のほかにも、なにか企画さ

れていることがあるのでしょうか。

尾閑 はい、いまいろいろ検討されている競技としてミッド・アマ選手権というのがあります。関東アマチュア選手権は学生、ジュニア、社会人、シニアと条件に合えばすべての人に参加資格がありますが、ミッド・アマとは、例えば35歳から55歳までというように年齢で切って、このジェネレーションの人だけで選手権を行なおうというものです。

——ことは64歳から69歳までのミッド・シニアというのを加えました。

尾閑 そうです。選手層が厚くなったことで従来の選手権だけでは不備な点が目立つようになったからです。もし、来年からミッド・アマが導入されると、関東アマ、関東ミッド・アマ、関東シニア、関東ミッド・シニア、それに関東グランド・シニアがライン・アップされることになります。

——アンダー・ハンディキャップ競技に加えて、これだけ多くの選手権が用意されるとなると、選手たちの張り切りようも違ってくると思います。ではこのへんで。長い時間どうもありがとうございました。



尾閑競技委員長（左）、塩田広報委員（右）

率はどうなるのでしょうか。

尾閑 そこなんです。ですからこれも例えばの話ですが、参加倶楽部数の少ない東京都だと、山梨県では男子8名、女子4名という基準を仮に作り、あとは参加倶楽部の多寡によって比率を作って第2次予選通過者数を決めるのが一番適切だと考えます。また、栃木県、茨城県、千葉県、それに静岡県などは参加倶楽部が多くなりますから2会場に分けてもいいのではないかと思っています。

——そうなると、だいたい何名くらいが決勝競技に出てくるのでしょうか。

尾閑 これもまだ見当がつきませんが、開催コースのキャパシティということもありますから男子200名、女子100名といったところが一つのラインじゃないでしょうか。もちろん、この数では18ホールスのコース1会場だけでは無理ですから36ホールスのコースか、18ホールスの2会場をお借りしなければならなくなると思います。

先ずはスタートしよう

——とにかく出場者が選手権クラスの人ではなく、10代、20代、場合によっては30代のハンディをも

平成6年度 関東グランドシニアゴルフ選手権競技

- 開催日 平成6年5月9日(月)
- 開催コース 鷺之台カントリー倶楽部 6,263ヤード パー72

“明治”は遠く……

文・山田和臣 (KG広報委員)
写真・石川博英 (KG広報委員)

KGAでは主催競技別に女子局員の担当者が決められており、皆さん実に評判がよろしい。

Y.Rさんはジュニアの担当で、子どもたちには“お姉さま”的に慕われているし、O.Nさんは関東アマ・女子の担当でとくに関東アマの若手に人気が高い。グランドシニアは、O.Hさんで大変わん寄りの“めんどう見”がよいとの評判である。

そのO.Hさんは今年だいぶやきもきしたそうである。申込締切日(3月28日)が近くなつても申込者数が少なく、常連のAさんBさんCさん……10名以上、音沙汰がなかった。「お年寄りなので、ヒョッとしてと思いましたが、万一お忘れになつてゐるではと気になり、局長には内緒で思いきつて



特別表彰を受けた4氏 左より
太田勝郎さん 宮田貞之さん
小林健祐さん 樽引大吉さん

昨年の申込書をもとに、ご自宅に電話してみました。」

そうしたら案の定、大半の人が“あれっ、いつも秋10月じゃなかったの、5月9日、こりやいかん、早速あしたクラブを通じて申し込む、ありがとう”とのことであったそうだ。

【ジュニアとシニアの違い】

昨年のグランドシニアは10月22日、霞ヶ関カントリー倶楽部で開催された。エントリー202名の過去最多であり、倶楽部に無理をお願いして、1番スタートを7時にしてもらい、事なきを得たが、これではいかんと、今年より日照時間の長いゴルフデンマークあけの5月9日に変更したのである。

また、今年より日本グランドシニア選手権が初



表彰式は年に一度の同窓会ムード

河西幹一競技委員長も今年83歳

めて開催される(10月21日、茨城ゴルフ倶楽部)こともあり、ハンディキャップ15となつた。

そんなこんなで、事前の準備はいつもの年とちがつて、ちょっとしたトラブルもあったようだが、競技日の5月9日はO.Hさんと出場者の日頃の善行のせいか、文字どうり五月晴れとなつた。

出場者数も138名と、多くもなく少くもなく、適当数であり、関係者はほつとした。

ただ残念なのは今年、ついに明治生まれの参加者がいなくなつたことである。最高年齢は、山口澄さん(1912年5月23日生、ニューセントアンドリュース)であった。

優勝は下馬評どうり、岡野幸男さん(日高カントリー)であった。岡野さんは今でも若手にまじって関東月例に出場し、ときどきポイントを獲得するほどの力量



カット 山県和彦

の持主である。昨年は“初年兵”的ジンクスを破ることができず、今年に捲土重来を期していたと

いう。

ジュニアとグランドシニア競技に技術的な講評は不要である。ましてシニアには失礼にあたるというのだ。ジュニアとシニアの違いは“ダク点”がつくかどうかであつて、どんな気むづかしいシニアも、ひとたびクラブを握ると途端に“ダク音”的のついたジュニアとなる。皆さん童顔にもどり、喜々として足どりも軽くスタートしていく。

今年も陽光の下、138名のグランドシニアはプレーできる喜びを体いっぱい表現していた。



出場者に共通していることは肥満体でないこと 日頃の節制のたまもの



優勝者 岡野幸男さん

平成6年度 関東グランドシニアゴルフ選手権競技成績表

エントリー148名 出場者138名

順位	氏名	倶楽部	アウト	イン	合計
1	岡野 幸男	日高	37	35	72
2	山田真早志	鷺之台	36	39	75
3	成宮 秋良	横浜	41	37	78
3	山口 梅吉	大厚木	39	39	78
5	前田礼一郎	我孫子	42	37	79
5	横山 寛	鎌ヶ谷	38	41	79
7	篠原喜和治	武藏	41	39	80
7	大竹 栄一	武藏	40	40	80
7	荻野 信男	日光	41	39	80
7	井上 剛彦	相模原	41	39	80
7	池田 善彦	八王子	39	41	80
12	渡辺長四郎	飯能	40	41	81
13	中村 正信	我孫子	43	39	82
13	芝入 俊雄	姉崎	40	42	82
13	水谷 敏	桜ヶ丘	40	42	82
16	木元 栄次	鷺之台	42	41	83
16	樽引 大吉	狭山	42	41	83

順位	氏名	倶楽部	アウト	イン	合計
16	飯島 一雄	あさひヶ丘	40	43	83
16	笠川 猛	千葉	41	42	83
16	小島 武忠	横浜	44	39	83
21	笠原 貞夫	日高	43	41	84
21	日下石廣美	嵐山	41	43	84
21	茅野 実平	諏訪湖	43	41	84
21	沢田 昭二	筑波	44	40	84
21	石津 昌夫	鎌ヶ谷	44	40	84
21	浜田 良雄	武蔵	43	41	84
21	井上 良朗	姉崎	40	44	84
21	高木 祭	杉郷	42	42	84
21	小宮 五郎	嵐山	41	43	84
21	鈴木 政伊	相模	42	42	84
21	藤原 良光	東京国際	41	43	84
32	新井 邦史	あさひヶ丘	45	40	85
32	永井 雅夫	東京国際	44	41	85
32	中村 勝美	鷺之台	42	43	85

平成6年度 関東グランドシニアゴルフ選手権競技

順位	氏名	俱楽部	アウト	イン	合計
32	小林 健祐	柏	43	42	85
32	浜野 賢	レインボー	42	43	85
37	川口 修	鎌ヶ谷	46	40	86
37	大場角次郎	京	43	43	86
37	菅沼 重男	木	41	45	86
37	小林 寿明	本厚木	44	42	86
37	本吉 敏男	赤城国際	44	42	86
37	河地 義幸	東京	44	42	86
37	宮田 貞之	嵐山	45	41	86
37	会田 勇	船橋	42	44	86
37	栗原 幸彦	皆川城	39	47	86
37	上野 明	那珂	40	46	86
47	頼 俊文	成田ハイツリー	42	44	86
47	大森 利郎	小金井	45	42	87
47	毛利 好	平塚富士見	46	41	87
47	林 義一	岡部チサン	43	44	87
47	荻津 邦	鎌ヶ谷	47	40	87
47	渡辺 要三	水戸	43	44	87
47	鈴木 富	秦野	41	46	87
47	古口 交志	黒磯	43	44	87
55	間谷 久夫	ダイヤグリーン	43	44	87
55	河口 恒治	大利根	44	44	88
55	三輪雄次郎	武藏	42	46	88
55	古泉 三男	霞ヶ関	43	45	88
55	松山 七守	青梅	43	45	88
55	林 春雄	皆川城	45	43	88
55	染井 三郎	中津川	45	43	88
55	眞貝 一郎	東名厚木	44	44	88
55	岩下 広信	千葉国際	42	46	88
55	高杉 音吉	横浜	42	46	88
55	上原 一郎	伊豆グリーン	42	46	88
66	渡辺 德親	相模	44	44	88
66	松野 京三	桜ヶ丘	43	46	89
66	武石小二郎	我孫子	47	42	89
66	藤形 祐一	烏山城	43	46	89
66	木村 政雄	長野	45	44	89
66	本橋 久雄	岡	44	45	89
66	伊野 林齊	長江戸崎	43	46	89
73	清水 武男	水戸	47	43	90
73	浅井 時郎	東千葉	45	45	90
73	藤 篤二	一の宮	45	45	90
73	森田 真平	皆川城	47	43	90
73	青木 敏夫	愛媛	47	43	90
73	内山 正寄	桜ヶ丘	43	47	90
73	若林 博	東名厚木	46	44	90
73	目崎 隆司	我孫子	46	44	90
73	小宮山光正	龍ヶ崎	46	44	90
73	神林 錠	我孫子	45	45	90
73	松村 武純	嵐山	45	45	90
84	井筒 武男	飯能	47	44	91
84	平山 信一	青梅	43	48	91
84	高橋 敬司	入間	45	46	91

※特別表彰 10回出場者 太田 勝郎・柳引 大吉・小林 健祐・宮田 貞之

順位	氏名	俱楽部	アウト	イン	合計
84	蓼 西国	大木	46	45	91
84	岡安 功	鷹台	48	43	91
84	萩原 寛	千葉	47	44	91
84	小坂 季一	龍ヶ崎	48	43	91
84	山口 栄寿	唐沢	44	47	91
84	里見 豊	東京	46	45	91
84	河内石太郎	武藏	44	47	91
84	藤井 博	武藏	47	44	91
84	川津 保	嵐山	45	46	91
84	坂井 敏男	日高	45	46	91
84	翁 革命	成田ハイツリー	47	44	91
98	鈴木 勘三	青梅	46	46	92
98	渡辺 松吉	サンコー72	45	47	92
98	山口 実身	白鳳	48	44	92
98	長谷川 清	大利根	46	46	92
98	森 俊雄	武藏	48	44	92
98	松井 一彦	立川国際	46	46	92
98	小野 逸世	東京国際	46	46	92
98	青山 邦夫	日本	43	49	92
106	桂川 鉄男	東京国際	49	44	93
106	西村幸八郎	津久井湖	46	47	93
106	安沢 栄喜	日高	46	47	93
106	大内田栄彌	日本	45	48	93
106	石塚 恒己	習志野	46	47	93
106	小寺 寿雄	柏	46	47	93
112	栗原 栄二	柏	50	44	94
112	蓼沼 賢二	唐沢	50	44	94
112	川上 順一	一の宮	43	51	94
115	十代田武平	長野	47	48	95
115	小林久次郎	長野	49	46	95
115	大塚 成吉	中山	46	49	95
118	峰谷 三郎	日高	48	48	96
118	鈴木 義平	船橋	49	47	96
118	住吉 元男	湯河原	50	46	96
118	菅沼 計二	鶴舞	48	48	96
122	上津原時雄	GMG八王子	49	48	97
122	大澤 武次	越生	46	51	97
122	三浦 茂樹	横浜	48	49	97
122	宗光 厚	水戸	49	48	97
126	松野 貞時	一の宮	54	44	98
126	山口 灑	ニューセント・アンドリュース	47	51	98
126	柴田勝日出	東京国際	45	53	98
126	平田栄次郎	天城にかつ	48	50	98
130	斎藤 光次	東京国際	48	51	99
131	片桐 光由	日高	51	49	100
132	広兼 勝久	藤岡	50	52	102
132	為貞 伸之	ゴルデンレイクス	51	51	102
134	白井 庄八	森林公園	55	48	103
135	太田 勝郎	横浜	57	47	104
135	田原 和夫	白鳳	55	49	104
137	矢部 留太	チサン黒羽	56	50	106

平成6年度 関東女子ゴルフ選手権決勝競技

- 開催日 平成6年5月16日(月)、17日(火)
- 開催コース ガーデンゴルフ俱楽部 6,208ヤード パー72

静かなる大記録

—里見真佐子さん決勝出場30回—

文・吉川英明 (KGA広報委員)

写真・片山晴美 (KGA広報委員)

ウィニングボールをカップから拾い上げると、日に焼けた童顔に真っ白い歯並みがこぼれた。

18歳の新チャンピオン、菊地あつ子は、そのボールをグリーンサイドで応援していた仲間に小さくトスして、はにかんだような笑みを向けた。

初日70、二日目72の通算2アンダー、2位の有藤智香に7打という大差をつけての堂々たる優勝である。アンダーパーでの優勝は、83年の中島恵利華以来、史上3人目という快挙であった。

菊地は、試合後、「終わってみなければ分かりませんから、最後まで優勝とか勝ちとかは意識しませんでした。ただただ、一生懸命やりました。」

と話していたが、確かに、その伸び伸びとしたプレーからは、終始優勝のプレッシャーは見て取れなかつた。

大きな試合の最終日、トップを走る者の心理に思いを馳せると、我々はそこに、苦行僧のそれにも似た、自分との厳嵩な戦いを見るのが常なのだが、菊地あつ子のラウンドには、そうした悲壮感は更々なかった。

二日目、ワンオーバーで迎えた大詰めの17番で、登り12~3メートルのバットを思い切りよく強打してイー

ブンに戻した時のパーキーなど、プレッシャーどころか、淡々とゴルフを楽しんでいるようにさえ私には見えた。

2位との大差が、そうした好打を生んだのは間違いないが、同時にこれは、彼女の持つて生まれた天分なのかもしれないと思った。

18ホールのプレーを見ただけで断言は出来ないが、菊地の闇切れの良い物怖じしないプレーは、彼女が、トッププレイヤーになるためには不可欠な、“おのれを信ずる”方法を、先天的に身に付いていることを物語っているように思えるのだ。
「将来は、プロに？」

との質問に、当たり前でしょうというように肯



▲優勝者 菊地あつ子さん



いて目を輝かせたが、その、まだあどけなくさえ見える目の奥に、不敵な光を垣間見たと思ったのも、あながち私の気のせいだけではないと思う。とにかく、まだ大学の一年生、大いに楽しみな逸材を女子ゴルフ界は得たと言ってよい。

表彰式の雰囲気も一変

18歳という優勝者の若さに象徴されるように、今年の大会も、ここ数年の例に洩れず、若手の台頭が著しかった。

昨年のチャンピオンで2位の有藤智香が20歳、3位の東尾理子も18歳で、9位タイまでの11人のうち、実に8人までが学生である。

参加129人のうち、最年少の選手は15歳で二人、16歳も二人いる。しかも、16歳の田崎史子は、158で堂々9位タイ、斎藤絵美理も165で27位タイと、高校生二人が日本女子アマの出場権を獲得した。

更に付け加えるなら、日本女子アマ出場の資格を得た42人のうち、半数近い18人が学生なのだ。上位陣を見渡すと、まさに学生選手権の様相である。

自然、表彰式、パーティーの雰囲気も変わってきた。

以前は、試合が終わると、選手全員がきちんとドレスアップし、いかにも女子選手らしい華やかな雰囲気がパーティー会場に漂ったが、最近は、ジャケットやブレザーも着ない高校生が、短いパンツ姿でサンドイッチやバナナを頬張るという光景が古いゴルファーを驚かせる。

良い悪いは別としてこれが現実であり、若年層の進出は今後も強まる一方だろう。

こうした新旧交代の波に埋もれてしまいそうだが、今年の大会では、一つ、静かな大記録が生まれたのを見落とし

てはなるまい。

里見真佐子選手の、決勝出場30回の記録である。本人に訊くと、予選落ちした5回も数えれば、今年で連続35回目の関東女子アマだという。

一つの競技、しかもこうした公式の選手権に、35年間連続して出るということは、気の遠くなるような偉業であり、他のスポーツでは絶対に出来ないことであろう。

何しろ、優勝した菊地あつ子をはじめ、上位を独占した学生選手たちの生まれる20年近くも前からこの試合に挑戦し続け、今年も、その孫のような選手たちと、同じ土俵で戦っているのである。

望まれる女子シニア選手権

この記録を前にして思うのは、女子のアマチュア選手権が、ゴルフ歴の永いベテラン選手にとっては、他に例を見ないほど苛酷な競技だということである。

里見選手の他にも、決勝出場10回で表彰された



決勝出場30回の特別表彰をうける里見真佐子さん

選手が6人いた。

しかし、彼女達にとって優勝の栄冠は、年々レベルアップする若いパワーに阻まれた高嶺の花である。過去10年間の大会で、プロになった福嶋晃子の3連勝を含む7回を学生が優勝しているのを見ても、それは明らかだ。

だが、ベテランの選手たちは、そんなことは百も承知……ただ、関東女子出場という誇りを唯一の扱り所として、見果てぬ夢に挑むのである。

彼女達に、もっと手応えのある夢を追求する場を提供する方法はないのだろうか。

「これだけ、選手の年齢層が広がってくると、関東連盟としても、女子のシニア選手権のような新しい競技を考えなければと思っています。」

尾関秀夫競技委員長も、圧倒的な若手の台頭と、健気に戦い続けるベテラン達の記録を前に、そう言って腕を組む。

全日本レベルでは、既にJGAが去年、日本女子シニア選手権を新設し、130人の参加を得ている。

日程や開催コースの問題など、クリアしなければならないことは数多くあろうが、関東連盟をはじめ、他の地区連盟でも、そろそろ、女子シニア選手権の様相である。

ア選手権競技の新設ということを、真剣に考えなければならない時期に来たと言えるのではなかろうか。

ゴルフの試合というと、常にマナーの問題がついて回るが、今大会の最終日のプレーを見た限り、総じて問題はなかったように思う。学生やゴルフ部OBの若い選手たちのきびきびとしたプレーぶりは、見ていて好感が持てる。

その上、特筆すべきは、競技の進行のスムーズなことであった。

午前10時半にスタートした最終組の優勝者菊地あつ子がホールアウトしたのが、午後3時25分きっかり。想定していた3時半より、5分も早いのである。

結果として、表彰式、パーティーも余裕を持って始まり、全日程が気持ちよく終了した。

当たり前と言われればそれまでだが、時として、ワンラウンド6時間もかかることがある最近の男子の試合と比べれば、これは驚くべきことである。

この点では、どう弁明しようと、男子は女子に頭が上がらない。以って範とすべしだろう。

平成6年度 関東女子ゴルフ選手権決勝競技成績表

参加者131名

順位	選手名	所属	第1ラウンド		第2ラウンド		合計
			アウト	イン	アウト	イン	
優勝	菊地あつ子	白帆	37	33	70	35	142
2	有藤智香	日本大	38	38	76	38	149
3	東尾理子	新千葉	37	37	74	38	150
4	中野陽子	新千葉	38	38	76	38	151
5	板垣真由美	鹿沼	38	40	78	39	155
6	大竹康子	下野	42	41	83	39	157
6	箱田美樹	甘楽	39	37	76	42	157
6	山本智実	鹿沼	72	40	40	80	157
9	三木恵美子	富士	40	39	79	41	158
9	田崎史子	鹿沼	72	37	39	76	158
9	金沢鈴華	常陽	37	41	78	41	158
12	鈴木八重美	ザ・鹿野山	38	39	77	41	159
13	石津朋子	月星・鹿沼	40	41	81	40	160
13	加藤勝栄	相模原	43	40	83	41	160
15	杉浦ちえみ	寄居	43	41	84	38	162
15	増田京子	筑波	40	41	81	39	162
15	中田朱美	袖ヶ浦	40	42	83	39	162
15	尾関久江	武藏	38	40	78	44	162

順位	選手名	所属	第1ラウンド		第2ラウンド		合計
			アウト	イン	アウト	イン	
15	中野明紀	風月	42	38	80	41	162
15	田中妙子	南摩城	40	41	81	39	162
21	五十嵐瑞江	藤岡	40	38	78	45	163
21	鶴田万里子	長野	39	42	81	43	163
21	中山康子	成田スプリングス	41	40	81	40	163
21	丸山みづ穂	穗高	40	41	81	38	163
21	戸部千賀子	鹿沼	72	40	44	84	164
25	塙原有利	袖ヶ浦	43	42	85	41	164
27	小泉節子	鎌倉	41	42	83	42	165
27	青木英子	千葉	42	41	83	44	165
27	斎藤絵美里	鹿沼	72	42	42	84	165
27	小島美智子	新千葉	39	42	81	42	165
27	西門美枝	関東ユニニア	47	42	89	38	165
32	増田知代	甲斐駒	41	43	84	40	166
33	湯原光葉	鳥山城	40	41	81	42	167
34	中村トク子	東千葉	45	39	84	45	168
35	小池永子	宇都宮国際	42	39	81	45	169
35	猪股美恵子	上総富士	43	43	86	43	169

平成6年度 関東女子ゴルフ選手権決勝競技成績表

順位	選手名	所属	第1ラウンド		第2ラウンド		合計		
			アウト	イン	アウト	イン			
35	板尾 栄子	銘子	41	40	81	46	42	88	169
38	村田トシ子	鎌ヶ谷	42	48	90	39	41	80	170
38	鈴木 潤子	扶桑	44	43	87	41	42	83	170
38	外川 典子	河口湖	43	43	86	43	41	84	170
38	梅沢 くみ	慶應義塾大	42	43	85	42	43	85	170
38	東 真美	大千葉	42	44	86	41	43	84	170
38	近藤 信子	南箱根	47	42	89	40	41	81	170
38	清水 和代	豪野	40	43	83	41	46	87	170
38	宇野喜代美	葉山国際	42	42	84	41	45	86	170
46	大塚 幸子	袖ヶ浦	46	42	88	41	42	83	171
46	安保恵美子	日本大	43	42	85	45	41	86	171
46	中島 佳乃	スカイウェイ	43	40	83	48	40	88	171
46	大徳 照子	新千葉	47	42	89	43	49	82	171
46	高橋千津子	豪野	44	40	84	43	44	87	171
46	加藤 利刈	伊豆大仁	43	41	84	44	43	87	171
46	塙原 令子	東千葉	42	43	85	41	45	86	171
46	菅原亜矢子	慶應義塾大	43	41	84	40	47	87	171
46	国井麻衣子	矢板	44	44	88	42	41	83	171
55	有藤 実花	日本大	41	44	85	42	45	87	172
55	山田 千代	韮月・佐野	46	42	88	40	44	84	172
55	長嶺 光子	水戸	44	41	85	42	45	87	172
55	森井 郷子	慶應義塾大	45	41	86	44	42	86	172
55	島崎 吉枝	葉山国際	40	45	83	43	44	87	172
55	松野 信子	東松山	43	40	83	46	43	89	172
55	正木 英子	立川国際	41	45	86	43	43	86	172
55	金 沙織	ブルーピークナ	44	44	88	41	43	84	172
63	押田 幸子	大日向	44	42	86	45	42	87	173
63	島崎 利江	鎌ヶ谷	49	40	89	45	39	84	173
63	菊地恵美子	宇都宮	44	43	87	42	44	86	173
63	五十嵐洋子	藤岡	43	48	91	38	44	82	173
63	丸山 景子	甲府国際	45	45	90	41	42	83	173
63	西村 光子	相模原	43	43	86	42	45	87	173
69	原田 司子	大平台	42	42	84	47	43	90	174
69	甘糟 澄子	東千葉	44	49	93	42	39	81	174
69	牛込 成美	慶應義塾大	45	41	86	48	40	88	174
69	國井 良恵	水戸	41	40	81	47	46	93	174
73	五十嵐昌子	相模	44	44	88	45	42	87	175
73	時岡美恵子	中津川	44	43	87	45	43	88	175
73	山根ミドリ	日高	43	42	85	45	40	90	175
73	内田トシ子	鬼怒川	45	44	89	42	44	86	175
73	小川 涼子	白帆	45	45	90	42	43	85	175
73	木原 智絵	板木	45	46	91	41	43	84	175
73	中村美穂子	ニッソード	45	42	87	43	45	88	175
80	清水加津子	千葉	44	43	87	46	43	89	176
80	梅村 俊子	藤岡	43	40	83	49	44	93	176
82	森 美代	船橋	43	46	89	42	46	88	177
82	目崎美枝子	江戸崎	43	45	88	46	43	89	177

*特別表彰 決勝出場10回 斎塙順子(船橋) 内田トシ子(鬼怒川) 大川則子(鹿沼72) 亀井陽子(河口湖) 菊地恵美子(宇都宮) 仁科敏枝(韮月・佐野)

決勝出場15回 近藤信子(南箱根)

決勝出場30回 里見真佐子(府中)

*予選メダリスト 第1ブロック(甲斐駒ヶ谷) 塙原千賀子(鬼怒川) 74ストローク
第2ブロック(大平台) 小戸部千賀子(鹿沼72) 74ストローク
第3ブロック(富士宮) 五十嵐昌子(相模) 83ストローク 清水和代(秦野) 83ストローク
森郷子(慶應義塾大) 83ストローク

平成6年度 関東アマチュアゴルフ選手権競技

- 開催日 平成6年6月13日(月)、14日(火)、15日(水)、16日(木)
- 開催コース スプリングフィールズゴルフクラブ 6,825ヤード パー72

文・杉山通敬(KGA広報委員) 写真・舟橋一芳(KGA広報委員)



その志しやよし

最終ラウンド、最終組4人のうち3人は日大ゴルフ部4年生であった。片山晋吾は主将、横尾要と宮本勝昌は副将。和田博のみ社会人であったが、彼も32歳の若さで、成績表にあるようにこの4人がベスト4を占めた。難コースであったにもかかわらず、4人ともアンダーパーだった。若くて優秀なゴルファーが育成されつつあることは、開催主旨に照らしても喜こぼしい現象と言えよう。以下は優勝した片山選手との一問一答である。

——4日間、プレーのうえで心掛けたことは?

「難しいコースだったので、自分を信用して振られなければいけないと思いました。萎縮したらコースに負けてしまいますから」

——日大の同級生同士でやりににくい面とやりやす

い面があったのではないか。

「それはありません。コースと戦い、スコアに挑戦しました」

——コースに勝っている、という印象を受けたけど、本人としてはどう?

「今日は4パーカー、2ボギーでしたが納得のいくプレーが出来たとは言えません。パットなど打ち方が悪くて外したケースがありすぎました(ちなみにパット数はアウト14、イン18)。これからはもっと平均点の高いゴルフをしなければいけないと思ってます。アメリカでも通用するようなゴルファーになりたい」

——日常はどのくらい練習していますか。

「ボールを打つのは1時間程度ですけど、メンタルトレーニングや体力トレーニングを含め4時間、それに本を読む時間を含めますとかなりの時間になります。1日1日をゴルフばかりでなく、き



優勝者 片山晋児選手



社会人として一人気をはいた和田 博選手

ちんきんと自己管理しながら過ごしていくよう努めています。」

——プロになる気はありますか。

「今はまだ考えていません」

——目標とするゴルファーは?

「誰かを目標とするよりも、目標とされるようなゴルファーになりたいと思います。」

為す者は常に成り、行く者は常に至る、と言うべきか、その志しやよし。

他山の石

加藤一彦選手が〈ウォーターハザード条項の重大な違反〉により競技失格になった。最終ラウンドの12番でラテラル・ウォーター・ハザードに入れたら後、球がその限界を最後に横切った地点を誤り、遙かにホールに近い所にドロップしてプレーし、しかもその誤りを訂正しなかったことが、スコアカード提出後、目撃者及び同伴競技者の証言で判明、本人もそのことを認めたため、失格とされた。

本人、及びマーカーを含めた同伴競技者のルール無知による不祥事であった。他山の石以て玉を攻くべし、か。

衣服は人物の紹介状

ゴルフの「勝負服」についてひとこと。その道の専門家の意見によると、緑が基調となるゴルフ場ではシンプル



惜しくも3連覇を逃した阪田哲男選手(右)と新チャンピオン片山選手

平成6年度 関東アマチュアゴルフ選手権決勝競技成績表

参加者157名 内決勝ラウンド進出者66名

順位	選手名	所属	第1ラウンド アトイン 計	第2ラウンド アトイン 計	第3ラウンド アトイン 計	第4ラウンド アトイン 計	合計
1	片山 晋児	つくばね	36 34 70	33 36 69	37 33 70	34 36 70	279
2	横尾 要	あさひヶ丘	34 36 70	35 35 70	37 33 70	37 35 72	282
3	宮本 勝昌	大熱海国際	34 34 68	38 32 70	35 34 69	39 37 76	283
4	和田 博	東京五日市	35 37 72	37 34 71	36 33 69	34 39 73	285
5	長尾 卓	バ協	38 34 72	34 36 70	32 38 70	37 38 75	287
6	小川 透	岡部チサン	35 37 72	36 35 71	36 35 71	37 37 74	288
7	細川 和也	バ協	40 36 76	36 36 72	36 34 70	35 35 70	288
8	国吉 博一	関東ジュニア	34 36 70	36 38 74	35 38 73	34 38 72	289
9	山本 元成	日本大	35 34 69	35 35 70	38 37 75	36 39 75	289
10	秋山 市朗	大熱海国際	34 40 74	36 36 72	36 36 72	35 37 72	290
11	今野 康晴	日本千葉	36 35 71	37 40 77	38 37 75	35 32 67	290
12	森 忍	日本大	35 37 72	36 37 73	36 37 73	37 35 72	290
13	金子 光規	レインボーボー	38 33 71	35 38 73	37 36 73	38 36 74	291
14	阪田 哲男	袖ヶ浦	37 37 74	35 43 78	35 37 72	33 35 68	292
15	浅川 康彦	武藏	37 36 73	37 36 73	39 36 75	35 37 72	293
16	室屋 歩	新千葉	38 36 74	36 37 73	37 37 74	38 35 73	294
17	板垣 道也	伊香保国際	35 39 74	38 36 74	35 37 72	37 38 75	295
18	日暮 俊明	扶桑	40 35 75	38 33 71	38 38 76	39 35 74	296
19	辻村 明志	関東ジュニア	36 35 71	35 39 74	38 36 74	40 37 77	296
20	矢野 學	袖ヶ浦	37 35 72	37 35 72	36 38 74	40 39 79	297
21	徳永 雅洋	ザ・レイクス	39 38 77	35 38 73	37 38 75	37 36 73	298
22	岡庭 正春	錦ヶ谷	39 39 78	35 39 74	38 35 73	37 37 74	299
23	原田 武秀	東名厚木	37 37 74	37 40 77	34 38 72	36 40 76	299
24	沢田 信弘	長南	39 37 76	36 35 71	36 38 74	38 40 78	299
25	中島 敏雅	日本大	39 36 75	39 39 78	40 36 76	35 36 71	300
26	室伏 健二	東名	37 37 74	40 36 76	38 38 76	36 38 74	300
27	正木 進	鹿沼	39 40 79	35 35 70	36 38 74	38 39 77	300
28	和田 雅英	東京五日市	38 37 75	38 37 75	40 35 76	37 38 75	300
29	神山 隆志	日本大	36 35 71	37 41 78	37 38 75	39 37 76	300
30	白井 敏夫	組武	41 35 76	37 38 75	38 39 77	37 36 73	301
31	宮本 清	小川	36 37 73	41 39 80	36 40 76	35 37 72	301
32	鈴木 雅士	專修大	38 35 73	37 38 75	37 39 76	37 40 77	301
33	内藤 正幸	桜ヶ丘	37 38 75	37 36 73	38 36 74	39 41 80	302

*予選メダリスト

- 第1ブロック(小金井) 鈴木正治(府中カントリークラブ)
- 内藤利也(愛媛シッキスランドレッドグラフ) 71ストローク
- 第2ブロック(ロイヤルオーク) 神山隆志(日本大学) 69ストローク
- 第3ブロック(レインボーボー) 井端和生(大熱海国際ゴルフクラブ) 72ストローク
- 辻村明志(関東ジュニア) 72ストローク
- 第4ブロック(芳賀) 竹石誠(筑波カントリークラブ) 74ストローク
- 磯岡真吾(鳥山城カントリークラブ) 74ストローク
- 吹野耕一(都賀カントリー俱乐部) 74ストローク
- 第5ブロック(フォーシーズン) 松井滋(白鳳カントリー俱乐部) 73ストローク
- 第6ブロック(立科芙蓉) 中島敏雅(日本大学) 70ストローク

順位	選手名	所属	第1ラウンド アトイン 計	第2ラウンド アトイン 計	第3ラウンド アトイン 計	第4ラウンド アトイン 計	合計
33	石井 保行	東名厚木	39 35 74	38 36 74	38 41 79	36 39 75	302
33	小暮 大輔	日体大	35 42 77	39 36 75	43 36 79	36 35 71	302
33	井端 和生	大熱海国際	39 37 76	39 37 76	35 37 72	37 41 78	302
33	青木 克益	東筑波	37 35 72	39 36 75	39 38 77	39 39 78	302
38	成田 朋正	豊岡国際	38 37 75	40 38 78	37 39 76	37 37 74	303
38	中村 清水	戸戸	40 39 79	36 37 73	39 37 76	37 38 75	303
38	小久保武夫	藤岡	38 38 76	40 36 76	40 36 76	36 39 75	303
38	田村 敏歌	湯沢	35 38 73	39 39 78	36 38 74	39 39 78	303
38	染谷 健市	扶桑	36 37 73	37 40 77	41 37 78	37 38 75	303
38	高安 信行	セントラル	35 35 70	35 39 74	39 38 77	39 43 82	303
38	亀井 隆廣	沢	39 36 75	36 38 74	39 37 76	37 41 78	303
45	石井 直人	春野	36 38 74	36 40 76	39 38 77	37 40 77	304
45	根本 太満	水戸	37 33 70	40 40 80	39 40 79	38 37 75	304
45	宮本 恵治	東名	41 37 78	37 38 75	38 38 76	36 39 75	304
45	岡田 光正	嵐山	37 34 71	40 38 78	38 37 75	39 41 80	304
45	羽鳥 豊	藤岡	37 38 75	38 39 77	39 37 76	38 38 76	304
50	田島 幸久	秋父国際	38 36 74	36 39 75	38 37 75	40 41 81	305
50	照原 駿	日本大	36 37 73	33 40 73	38 38 76	42 41 83	305
52	伊藤 仁	錦ヶ谷	40 38 78	40 36 76	37 41 78	39 35 74	306
52	安間 章浩	丘陵スプリングス	36 36 72	37 40 77	41 38 79	39 39 78	306
52	猿渡 猛	ロイヤルオーク	38 38 76	39 36 75	36 40 76	39 40 79	306
55	三宮 勇雄	柏崎	38 37 75	40 37 77	42 38 80	38 37 75	307
55	佐藤 次男	紫塚	40 35 75	40 39 79	38 38 76	36 41 77	307
55	原 継雄	相模原	42 36 78	38 36 74	36 39 75	39 41 80	307
58	盛岡一郎	丘陵スプリングス	38 38 76	35 39 74	41 41 82	37 41 78	310
59	黒元 安雄	鉢子	37 34 71	40 41 81	40 40 80	41 38 79	311
60	平山 裕基	綾武	42 35 77	37 37 74	46 37 83	38 41 79	313
60	瀬谷 富士男	霞ヶ浦出島	36 39 75	36 37 73	40 40 80	42 43 85	313
62	望月 清	富士宮	38 36 74	40 37 77	40 38 78	46 40 86	315
62	鈴木 昭治	鉢子	37 38 75	38 39 77	39 42 81	42 40 82	315
62	有泉 義也	日本大	38 36 74	37 41 78	40 40 80	43 40 83	315
65	塙田 義勝	小金井	41 37 78	39 36 75	40 45 85	43 38 81	319
65	加藤 一彦	千葉	失格				

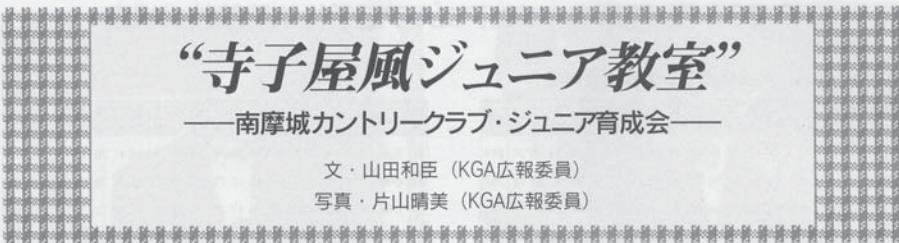
※特別表彰	決勝出場10回表彰	秋山 市朗(大熱海国際)
	沢田 信弘(長南)	沢田 信弘(中)
	鈴木 正治(府中)	根本 太満(水戸)
15回表彰	中村 清(水戸)	根岸 正義(美香)
20回表彰	内藤 正幸(桜ヶ丘)	中野 弘治(美香)
25回表彰		

“寺子屋風ジュニア教室”

—南摩城カントリークラブ・ジュニア育成会—

文・山田和臣 (KGA広報委員)

写真・片山晴美 (KGA広報委員)



KGA主催の夏季ジュニア・ゴルフスクールには、毎年1500人ちかい参加者がある。中でもノーザン錦ヶ原の初級者スクールには200人をこすジュニアが集り、その様子はまことに壯観だ。

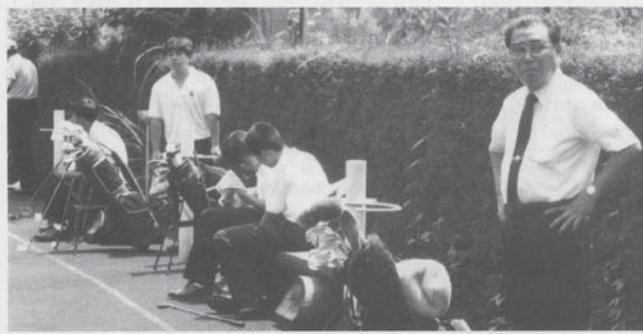
それにくらべて、私がおじゃました「南摩城カントリークラブ・ジュニア育成会」は、例えれば“寺子屋風ジュニア教室”とも言うべき、まことに小じんまりしたものだった。

先ず開校の動機を秋藤英雄支配人に語っていたいたい。

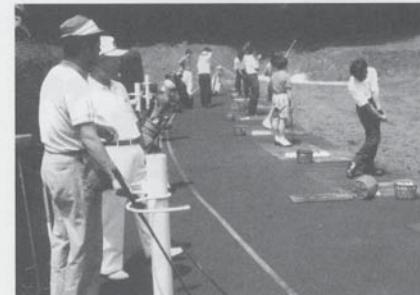
「当クラブは昭和50年に開場しましたが、一還して地域社会との融和を図ってきました。その具体策として、周辺地域の子弟を対象としてジュニア教室の関係を考えおりましたが、ようやく実現したのは平成4年のことです。平成3年度の理事会で決議いただき、育成会会則、募集要項等を定め、新聞にチラシ広告を折り込み募集しました。」

その結果1期生（1期3年間）として28名のジュニアが入校を認められ、現在は第2期生を募集中である。お世話はクラブ所属のプロがあたり実技指導、

第2期生募集の折込チラシ広告3万枚・費用は20万円



私の願いはこの中より関東アマ、日本アマのチャンピオンが出ること——秋藤支配人(右)



若いだけあって上達は早い



担当者の高木さんはジュニアの兄貴分



食欲はきわめて旺盛

10時より開校となつてい
る。」

と、まあまことにきちんとしたものであるが悩みの種は、“私立の学校の子は、問題なくすぐ書類一式ととのえられるが、公立学校がうるさくて、校長先生によっては認め

てくれないところがある（秋藤氏談）。そのため、前述のように、3万枚の折込広告（20万円もかかった）の必要があったとのこと。

ジュニア育成の3本柱

かねてより、KGAジュニア委員会は、①関東ジュニア選手権、②KGAゴルフスクール、③加盟俱楽部ジュニア教室を活動3本柱として精力的に育成活動を展開してきた。①、②は軌道に乗ってきた



クラブ所属プロが手とり足とり指導



練習は一般プレーヤーがスタートしてから開始

が、③はまだまだである。
(紅露委員長談)。

このKGAニュースでも、筑波カントリークラブのジュニア教室を紹介したことがあるが、加盟俱楽部の反応は今ひとつであった。

南摩城教室の熱心な子どもたちを見るにつけて、これこそジュニア育成の基盤であり、KGA、加盟俱楽部の責務であることを痛感した。

1期生の中からすでに関東ジュニア決勝競技に駒を進めたジュニアも育ってきた（館野成毅君 佐野日大他）。

レッスンぶりを目にしながら「この中から関東アマ、日本アマチャンピオンが出てほしい。それが私たち関係者の夢なんです」と秋藤さんは目を細めて語ってくれた。

平成6年度 関東倶楽部対抗決勝競技

●開催日 平成6年6月27日(月)

●開催コース 高坂カントリークラブ

Aクラス 米山コース6,690ヤード パー72

Bクラス 岩殿コース6,889ヤード パー72



入口には大歓迎アーチ

文・宮元広雄 (KGA広報委員)

写真・石川博英・片山晴美 (KGA広報委員)

猛暑・重圧の下の熱戦

6人制の倶楽部対抗競技も、今年で2年目を迎えた。昨年は賛否両論、半々であったが今年の方の声はチーム戦の妙味がより發揮されて競技としては8人制よりむしろ内容があってよい、と評価する人が多かった。

どうやらこのまま定着しそうな感じであるが、ただ現行のABのクラス分けについて、30歳代、40歳から54歳までと55歳以上の3クラスの6人制にした方が、倶楽部より公平に参加させができるし、楽しみも倍加されるのではないか、という傾聴に値する声もあった。このような意見が出るということはとりもなおさず倶楽部対抗に关心が高く人気も高いということだろう。

人気という点では、KGAが主催する競技の中ではダントツであることはまちがいない。この一日の大会のために2,000人近いギャラリーが観戦に押しかけてくる。こんな競技はこの倶楽部対抗決勝をにおいて他にない。ゴルフの祭典といわれる所以である。

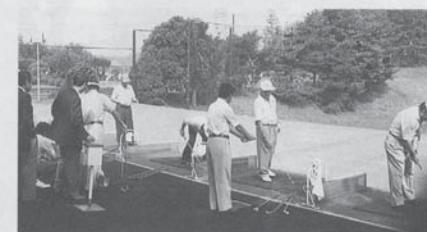


立ち並ぶ倶楽部旗

人たちも一喜一憂することになる。熱い興奮の一日を過ごすわけだから、まさにアマチュアによる日本一のゴルフイベントと言っても過言ではないのである。

今年の予選競技でもワンストロークに泣いた倶楽部が幾チームも出た。また埼玉の武藏、千葉の袖ヶ浦、静岡の東名、茨城のセントラルや大利根などこれまで決勝の常連といわれた強豪チームがことごとく予選で敗退してしまった。

一方では埼玉の狭山ゴルフ・クラブが23年振りに決勝進出を果した。県によっては前年度の出場



練習場ではキャプテン指導の下最後の仕上げ

■強豪相ついで姿を消す■

6人制になって選手への重圧感はこれまで以上に重くきびしくのしかかっていることはいうまでもない。大げさにいえば一人の不調がチームの生死を分けるだけに、選手はもちろんそれを見守る関係者や応援団の



いよいよスタート 緊張して注意事項をきく

霞台、長野、新潟スプリング出雲崎の8倶楽部であった。常連、初顔が入り交じってのこの大会は試合開始前から熱気がコース内にみなぎっていた。

昭和39年以降、22回決勝出場という最多のキャリアを誇る千葉カントリーを筆頭に、相模原18回、嵐山15回、岡部チサン13回、青梅、都賀の11回組と今年こそ栄冠獲得とばかりその意気込みもすごい。終わってみなければどこが勝つの全く予想もつかないといういわば拮抗した実力チームが集つた今年の大会、その行方は予断を許さない大激戦となった。昨年の王者、新千葉は2年連続を狙って選手の粒を揃えての参戦が伺える。惜しくも昨年2位に泣いた嵐山は、会場が同じ埼玉県で似通つた地形であり今年こそ意気込みがうかがえる。岡部チサンとあわせて、今年は埼玉勢優勢と早やくも戦前の下馬評が話題の花を咲かせていた。

■サウナの中の闘い■

炎熱の一日前だった。今年最高という猛暑、午前10時現在で気温29度、湿度85%。その後うなぎのぼりに気温は上がり、午後2時近くには32度を超す暑さとなっていた。照り返しを考えればフェアウェイでは35度近くにはなっていたであろう。まるでサウナにでも入ったような滝のような汗水を流しながら選手は暑さとの闘いを強いられていた。

チームがガラリと入れ替わったところが3県もあった。

1都10県、277チーム、参加選手1,662名による予選の中から勝ち抜いた40チームである。その内決勝初進出の倶楽部（昭和37年までは予選競技なし）は狭山、本千葉、上総富士、日立、セベ、



スタートホールには大ぜいの倶楽部応援団

それでもキャリアに自信をもつシニア組は、フォア・ザ・チーム、「フォア・ザ・チーム」と呪文のようにとなえながら頑張る姿がとくに印象的だった。

完璧にまで整備されたコース、フェアウェイは文字どうり、ジューテンを敷き詰めたようにすばらしい状態、グリーンの状況も文句なしのコンディションに仕上げられていた。13年前に決勝ラウンドを開催した経験をもつゴルフ場だけに、全体的にこまかいところまで配慮が行き届いていた。特に13年前に比べてコース自体が美しく、ホール全体の調和そのものが感じられ丘陵コースとして一段とその雄大さと風格を感じさせられた。競技参加者たちにとって満足なゴルフが出来たことであろう。

■大好評テレビ速報■

今年はKGAとして新しい試みを行った。それは、ギャラリーの多くの人たちから選手たちのハーフ・ラウンドのスコアを

コアを知りたいという要望に答えて、ハーフ毎に各選手のスコアをチェックして、それを場内6ヵ所に設置したテレビジョンに放映して、各チームの成績の経



好評を博したTV速報



今年はギャラリープラザに大テントも用意された

緯を刻々と伝えるというサービスを実施した。これが大好評であった。どのTVの前にも鈴なりの人ばかり、自軍の選手のスコアが入力され順位やポイントが表示される度にどよめきにも似た歓声があがるなど、俱楽部対抗独特の興奮を一層盛りあげていた。競技は東京五日市、岡部チサン、総武、嵐山それに新千葉や青梅の各チームが上位を競い合っていた。東京五日市の和田兄弟が、67・69とそれぞれ素晴らしいフィニッシュを見せたことで話題がにぎやかになる。

大詰めに入り総武、新千葉、岡部が微差で競い合っている。どのチームも最終一人の選手のあがりに期待がかかっているのか、期待と願望に入りまじって場内の興奮もピークに達している。

結局平均ストロークが僅か0・83の差をつけて新千葉が逃げ切り、堂々の二年連続優勝の栄冠をかちとった。まさに微差の接戦であった。平均で0・83といつても6人のトータルで見ると5ストロークの差ということになり数字で見る限りいかにそのチーム全体の戦力が備わっているかどうかが、6人制を征覇できる絶対条件ということであろう。

新千葉のクラブ創立が昭和45年、決して古いコースではないが伊賀キャプテンは、「うちのチームは普段のゴルフをやれば勝てるという考えに徹してやってきた。選手は千葉在住の者が日頃一緒にラウンドすることが多く、その点仲間同士というかチーム・ワークも自然と育っているのが特徴だろう」という。勝利の原因を井上競技委員長は「うちには他俱楽部のように研修会がない、ゴルフ



木陰の応援団はピクニックを思わせる

が上手でも人間性がとやかく言われる者は選手として選んでいない。スコアに負けてもゴルフには負けるな、というのが信条で最後まで苦しみながら我慢をしてくれたのがこの結果につながったものだ」と分析してくれたが、ともあれ2連覇に対して敬意を表したい。

加盟俱楽部の増加で、これまで幾度かその開催方式に変転があった。親睦競技といいながら年々加熱する対抗意識、参加経費の増大、クラブ・ライフ向上への役割りなどその問題点はかなり山積しているが、共通していえることはいつまでもこの俱楽部対抗の灯だけは消したくないという声が大きいということである。このことを考えれば主催側として、もっと幅広い改革と真のゴルフ界の育成に役立つことを目的に方策を熟考するときかも知れないと思った。

■相変わらずのスロープレー■

さて、今大会を通じて感じたことを2~3付け加えておきたい。

ひとつは依然として、スロープレーが目立つことが多いということだ。暑さも手伝って、選手自身が疲れている様子は理解できるが、グリーン上でパットラインを見るのに必要以上の時間をかけている選手が目につく。慎重であることは良いことだが、要領もゴルフマナーのひとつである。KGA競技委員がタイム・ウォッチを片手に、選手一人一人のグリーン上の所要時間を計測していたが、平均32



立錠の余地もない表彰式光景

秒、(KGAの指導制限タイムは45秒以内)だが、45秒を過ぎても、まだ反対側のラインから見直すというスロープレーヤーがかなりいた。全体の進行に大きな影響を及ぼすことになるので、今後はもっと厳しくチェックしていくとか、せめて俱楽部単位で研修会などの機会を利用スピード・アップを指導してもらいたいものだ。次に昨今のゴルフ場は、殆んどのコースが2打目を打つ地点の左右のラフに、グリーンまでの距離を表す100~150ヤードの標示となる植木などが置いてある。にも拘らず、150ヤード前後の距離になってしまって、いちいちキャディーにその距離の確認を行っている風景が目につく。

俱楽部を代表する選手ともなれば、キャリアはもとより、その見識は一般のゴルファー以上のものを備えているプレイヤーである。ゴルフのおもしろさや楽しさの一つは、自らの判断で正しいクラブの選択と意図するショットすることである。そのことが出来て、はじめてゴルフの醍醐味を味合うことが出来るとも言えよう。少なくともトップ・プレイヤーであるという自負がある以上、こうしたこと自覚してほしいのだ。

最後に、マナーの悪さに目を覆うものがある。汗を拭くためのタオルを、首に巻きつけるのはまだ我慢ができるとしても、ティ・グランド上に設置してある距離の標示板に腰かけて一服したり、雑談をしたりしている選手が目にとまった。何たる無礼な作法か、遠目に見るギャラリーの中からひんしゅくをかっていたが、これなど言語道断である。あえて個人の名前は伏せるが、心当たりの選手は勿論のこと、いかなるときにおいてもマナ



毎年この競技に限ってギャラリーはコース内立ち入り可

一だけは厳しく守って貰いたい。

ゴルフが上手になれば、天下でもとったように天狗になる者がいるものだ。ゴルフは、他人に不愉快な思いを与えないということが大原則であるということを、肝に銘じて欲しいものである。

終わりに、この炎天下の中で67のコース・レコードで健闘した、東京五日市カントリー俱楽部の和田雅英選手に拍手を送りたい。チーム成績こそ第四位と大魚を逸したが、兄弟揃ってのすがらしいゴルフが好感を呼んでいた。倦怠重来を期して来年こそその大輪を咲かせて貰いたいものだ。

惜しくも2位となった総武カントリーは、今年も今一歩及ばなかったが、「来年がまた楽しみです。研鑽して出直します」と、キャプテンは敗軍の将兵を語らずといって去っていった。強豪岡部チサンも届かず、嵐山も人気先行で終った。ダークホースといわれた青梅も一息及ばなかった。

あと一人。そう、その一人のスコアがすべてを決める冷酷なまでの6人制。平成6年度決勝はいくつかのドラマを演じて無事盛況裡に閉幕した。



◀開催俱楽部高坂カントリークラブ 安藤太郎常務理事よりコースレコード（岩殿コース・67ストローク）の特別表彰を受ける和田雅英選手（東京五日市）



新千葉カントリー俱楽部が2連覇

平成6年度 関東俱楽部対抗予選競技成績表

順位 順位別	東京 八王子		埼玉 狭山		千葉第1 ザ・鹿野山		千葉第2 上総富士		神奈川 大相模		茨城第1 ザ・レイクス		茨城第2 新水戸	
	5月23日(月)	5月27日(金)	5月23日(月)	5月23日(月)	5月23日(月)	5月23日(月)	5月23日(月)	5月23日(月)	5月27日(金)	5月24日(火)	5月27日(金)	5月24日(火)	5月24日(火)	
1 青 梅	482	嵐 山	487	新 千 葉	474	上 総 富 士	466	大 相 模	455	日 立	476	富 士 ・ 笠 間	466	
2 東京五日市	489	岡部チサン	489	銚 子	481	千 葉	470	伊 势 原	464	水 戸	479	霞 台	481	
3 桜 ケ 丘	490	狭 山	492	本 千 葉	481	総 武	471	相 模 原	470	セバ・パレスコロス	483	扶 桑	483	
4 東京国際	491	飯 能	494	白 凤	483	袖 ケ 浦	474	東 名 厚 木	471	土 浦	487	大 利 根	486	
5 立川国際	492	東 松 山	496	船 橋	484	成田スプリングス	476	湘 南 サイド	474	金 砂 郷	491	茨 城	486	
6 小 金 井	494	日 高	496	フォーシーズン	485	房 総	481	小田原(松田)	478	セントラル	497	茨城パシフィック	488	
7 武 蔵 野	495	川 越	499	ザ・鹿野山	486	千葉スプリングス	483	レインボー	479	ザ・レイクス	499	白 帆	489	
8 八 王 子	495	美 里	503	東 千 葉	492	鎌 ケ 谷	486	横 浜	479	ニ ッ ソ 一	501	水戸グリーン	491	
9 GMG八王子	496	廣済堂埼玉	503	千葉新日本	493	中 山	488	相 模	481	アジア下館	505	新 水 戸	494	
10 多 摩	499	東 京	503	南 総	494	富 里	495	磯 子	486	龍 ケ 嵐	505	桜	496	
11 相 武	499	高 根	507	八 幅	494	木 更 津	495	平塚富士見	487	江 戸 鎌	509	スプリングフィルズ	497	
12 東京よみうり	501	霞 ケ 関	507	京 葉 国際	498	我 孫 子	496	中 津 川	490	浅 見	514	大 洗	505	
13 府 中	505	寄 居	509	鶴 舞	500	習 志 野	498	秦 野	491	常 陽	515	那 珂	506	
14 赤 羽	546	熊 谷	511	長 南	505	姉 ケ 崎	504	小田原湯本	493	筑 波	517	霞ヶ浦出島	506	
15 越 生	511	千葉廣済堂	506	加 茂	504	戸 塚	495	麻 生	518	桂 ケ 丘	509			
16 浦 和	512	IN.エアポート	507	エ イ ゼ ル	505	大 秦 野	496	フレンドシップ	526	取 手 国際	511			
17 鴻 巣	513	長 太 郎	516	一 の 宮	508	葉 山 国際	498	ダイヤグリーン	530					
18 入 間	518	南 千 葉	517	真 名	509	湯 河 原	504	宍 戸 国際	535					
19 ユニオンエース	521	鷺 之 台	520	か ず さ	512	箱 根	505							
20 武 蔵	521	千葉国際	520	柏	514	芙 蓉	515							
21 ノーザン錦ヶ原	526	藤 ケ 谷	521	東京スプリングス	518	相 模 湖	515							
22 鳩 山	529	紫	538	小 御 門	521	津 久 井 湖	521							
23 秩 父 国際	542													
24														
25														
個人1位A	小坂孝二 (八王子)	安藤源 (飯能)	鈴木昭治 (銚子)	阿部求 (房総)	田辺進 (東名厚木)	中村清 (水戸)	藤井正義 (スプリングフィルズ)	近藤幸造 (唐沢)	長谷部章平 (鬼怒川)	金子宗平 (伊香保国際)	小林棋一郎 (富士チサン)	馬場明 (長野)	田中郁雄 (昇仙峡)	朴本敬穎 (妙高サンシャイン)
	74	74	76	75	73	74	74	78	74	74	73	73	75	77
B	内山健司 (青梅) 和田博 (東京五日市)	遠藤修 (岡部チサン)	伊藤和久 (新千葉)	石渡和之 (上総富士)	金子光規 (レインボー)	志村幹夫 (日立)	平山治 (霞台)	廣田次雄 (鹿沼)	江口久勝 (黒磯)	林初男 (藤岡)	斎藤勝彦 (静岡・浜岡)	西沢勉 (千曲高原)	冬頭克宣 (甲府国際)	深井修次 (長岡)
	73	75	72	72	67	72	70	73	72	67	71	72	76	74

18・ホール・ストローク・プレー (参加277チーム・1,662名) 関東ゴルフ連盟

栃木第1 ユーハイ	栃木第2 思い川東急	群馬 伊香保国際	静岡 藤枝	長野 グラントステージ丸子	山梨 昇仙峡	新潟 新潟sp・出雲崎
5月24日(火)	5月23日(月)	5月26日(木)	5月24日(火)	5月27日(金)	5月24日(火)	5年9月10日(金)
矢 板 488	鹿 沼 72	462	伊香保国際 469	静岡・浜岡 453	長 野 463	甲府国際 475
唐 沢 493	鬼 怒 川 467		藤 岡 478	沼 津 467	グランステージ 464	日本海 486
芳 貨 493	都 賀 481		太 田 双 葉 485	大熱海国際 469	昇 仙 峡 472	新潟sp・出雲崎 486
鹿 沢 496	千 成 483		桐 生 486	富士宮 470	妙高サンシャイン 491	長 岡 488
那須小川 496	宇 都 宮 484		草 津 487	豊岡国際 473	中央都留 521	長 岡 504
ロイアル 496	南 摩 城 485		ブリックランド 493	千曲高原 483	新 津 504	石打後楽園 510
板 木 497	杉 ノ 郷 485		妙高スプリングス 496	東 名 473	サニードラ 484	レイクビュー 505
鷹 500	下 野 487		美 野 原 496	富士平原 474	諏訪湖 486	下 田 城 506
足 利 502	塩 原 488		沼田スプリングス 500	富士小山 476	南 長 野 491	新潟sp・三条 507
那須チサン 504	ヒルクレスト 492		上毛森林 500	藤 枝 480	三井の森蓼科 493	上越国際・十日町 508
大 平 台 505	関 東 国 際 493		ノーザン群馬 503	御殿場 484	松 本 494	石打後楽園 510
風 月 511	グレンビーカー 493		ルーディンス 505	静岡・袋井 491	佐 久 平 496	新 湧 511
紫 塚 513	韋 駒 月・佐野 497		開越ハイランド 505	天城にっかつ 491	ヴィラ蓼科 498	湯 田 上 513
佐 野 516	アローエース 497		赤城国際 508	朝霧シャンボリー 491	望 月 東 急 498	津 川 518
あさひヶ丘 517	日 光 498		ロイヤルオーク 509	伊東カントリー 492	川 中 島 500	柏 嶺 519
鶴 517	広 陵 500		伊香保 510	南 箱 根 493	長 西 国 際 503	笛 神 五 頭 520
皆 川 城 519	真 名 子 501		鳳 512	富 士 士 497	あづみ野 509	糸 魚 川 521
板 の 木 522	黒 磯 503		ベルエア 515	菊 川 497	信州駒ヶ根 510	妙 高 522
韋 駒 月・鹿沼 523	東 宇 郡 宮 503		群 馬 516	富士御殿場 497		松 か 峯 522
新 宇 郡 宮 531	東 都 板 木 506		甘 楽 516	伊豆にらやま 499		小 千 谷 530
チサン黒羽 531	思い川東急 507		愛 鷹 523	愛 鷹 503		中 条 537
ユーハイ 542			高 峰 K G 527	三島スプリングス 510		湯 沢 542
			函 南 512	函 南 516		アイビス 563
			太 阳 516	太 阳 516		紫 雲 失格
			静岡・島田 失格			
近 藤 幸 造 (唐沢)	長 谷 部 章 平 (鬼怒川)	金 子 宗 平 (伊香保国際)	小 林 棋 一 郎 (富士チサン)	馬 場 明 (長野)	田 中 郁 雄 (昇仙峡)	朴 本 敬 積 (妙高サンシャイン)
78	74	74	73	73	75	77
廣 田 次 雄 (鹿沼)	江 口 久 勝 (黒磯)	林 初 男 (藤岡)	斎 藤 勝 彦 (静岡・浜岡)	西 沢 勉 (千曲高原)	冬 頭 克 宣 (甲府国際)	深 井 修 次 (長岡)
73	72	67	71	72	76	74

平成6年度 関東倶楽部対抗決勝競技成績表

6月27日(月) 於:高坂カントリークラブ 主催:関東ゴルフ連盟

●Aクラス メダリスト 加藤 明

新千葉カントリー倶楽部 72(37:35)

●Bクラス メダリスト 和田 雅英

東京五日市カントリー倶楽部 67(33:34)

1位 新千葉カントリー倶楽部 得点448

	氏名	合計	アウト	イン	順位
A クラス	加藤 明	72	37	35	
大 山 四 郎	77	38	39		
食 田 安 栄	80	42	38	448	
B クラス	伊 藤 和 久	73	38	35	
室 野 歩	75	39	36		
桜 井 延 秋	71	35	36		

(チーム平均ストローク=74.67)

2位 総武カントリークラブ 得点453

	氏名	合計	アウト	イン	順位
A クラス	大 林 仁	75	40	35	
藤 澤 公 一郎	79	41	38		
神 山 弘	84	43	41	453	
B クラス	杉 山 穂 徳	69	34	35	
中 川 利 貞	76	36	40		
白 井 敏 夫	70	34	36		

(チーム平均ストローク=75.50)

3位 岡部チサンカントリークラブ 得点456

	氏名	合計	アウト	イン	順位
A クラス	山 添 勇 喜	80	38	42	
田 中 浩	79	40	39		
六 木 本 清	77	39	38	456	
B クラス	小 川 透	70	34	36	
森 英 樹	80	39	41		
遠 藤 修	70	35	35		

(チーム平均ストローク=76.00)

4位 東京五日市カントリー倶楽部 得点459

	氏名	合計	アウト	イン	順位
A クラス	小 林 正 義	76	39	37	
桜 井 亮	83	41	42		
吉 田 幹 夫	77	38	39	459	
B クラス	川 久 保 実	87	41	46	
和 田 雅 英	67	33	34		
和 田 博	69	34	35		

(チーム平均ストローク=76.50)

5位 青梅ゴルフ倶楽部 得点459

	氏名	合計	アウト	イン	順位
A クラス	吉 原 貞 夫	78	38	40	
小 山 敏 男	81	39	42		
遠 藤 源 一	80	40	41	459	
B クラス	野 崎 寿 之	74	38	36	
内 山 健 司	73	34	39		
鶴 田 憲 人	72	36	36		

(チーム平均ストローク=76.50)

6位 藤岡ゴルフ倶楽部 得点459

	氏名	合計	アウト	イン	順位
A クラス	反 町 清 治	81	43	38	
福 島 久 夫	76	39	37		
山 寺 光 雄	76	38	38	459	
B クラス	羽 鳥 豊	72	37	35	
小 久 保 武	77	37	40		
林 初 男	77	41	36		

(チーム平均ストローク=76.50)

13位 富士カントリー笠間倶楽部 得点471

	氏名	合計	アウト	イン	順位
A クラス	大 津 好 間	76	38	38	
鈴 木 重 良	84	40	44		
飯 島 寛 二	81	42	39	471	
B クラス	千 田 順 彦	83	42	41	
山 西 宏 昭	78	38	40		
藤 崎 和 典	69	33	36		

(チーム平均ストローク=78.50)

20位 太田双葉カントリークラブ 得点478

	氏名	合計	アウト	イン	順位
A クラス	太 田 英 夫	84	41	43	
青 田 高 彦	80	42	38		
長 谷 川 弘 志	86	43	43	478	
B クラス	武 井 茂 幸	77	39	38	
山 手 原 富 士	77	39	38		
飯 島 康 之	74	36	38		

(チーム平均ストローク=79.67)

21位 狹山ゴルフ・クラブ 得点478

	氏名	合計	アウト	イン	順位
A クラス	大 田 和 國	86	43	43	
石 川 廣 雄	76	41	35		
山 崎 富 作	82	42	40	472	
B クラス	島 村 誠	78	37	41	
大 賀 鉄 雄	78	39	39		
塚 原 喜 充	72	37	35		

(チーム平均ストローク=78.67)

14位 鹿沼72カントリークラブ 得点472

	氏名	合計	アウト	イン	順位
A クラス	新 実 啓 悦	78	38	40	
喜 藤 昌 俊	76	39	37		
岡 田 光 正	79	38	41	463	
B クラス	和 田 光 史	73	39	37	
諫 山 達	80	40	40		

(チーム平均ストローク=77.67)

8位 大熱海国際ゴルフクラブ 得点465

	氏名	合計	アウト	イン	順位
A クラス	佐 々 木 喜 堂	82	39	43	
谷 和 生	78	40	38		
久 保 久 夫	81	43	38	465	
B クラス	井 端 和 生	73	37	36	
和 生 秋 子	71	34	37		
佐 々 木 清 士	78	42	36		
金 谷 峰 吉	80	37	43		

(チーム平均ストローク=79.0)

15位 静岡カントリー 浜岡コース 得点474

	氏名	合計	アウト	イン	順位
A クラス	内 山 山 敬	84	40	44	
鈴 木 朝 市	80	40	40		
久 保 久 夫	79	42	37	474	
B クラス	白 萬 斐	81	43	38	
佐 々 木 清 士	78	42	36		
金 谷 峰 吉	72	35	37		

(チーム平均ストローク=79.0)

16位 稲高カントリークラブ 得点476

	氏名	合計	アウト	イン	順位
A クラス	樋 口 義 一	84	39	45	
水 谷 静 夫	79	40	39		
金 子 宗 平	73	36	37	467	
B クラス	坂 道 道 也	84	41	43	
古 賀 慶 次	80	42	40		
板 垣 達 次	84	41	43		
B クラス	高 橋 道 也	76	37	39	
佐 々 木 善 裕	71	37	34		
佐 々 木 善 裕	72	39	33		
佐 々 木 善 裕	77	39	36		

(チーム平均ストローク=77.83)

17位 水戸・ゴルフ・クラブ 得点476

	氏名	合計	アウト	イン	順位
A クラス	今 井 輝 輝	78	39	39	
今 村 佳 郎	79	41	38		
夏 目 操	82	41	41	467	
B クラス	新 村 ヨ シ オ	74	36	38	
福 永 俊	76	38	38		
加 藤 一 彦	72	37	35		
佐 々 木 清 士	77	39	38		
佐 々 木 清 士	77	39	38		
佐 々 木 清 士	77	39	38		

(チーム平均ストローク=79.33)

18位 甲府国際カントリークラブ 得点477

	氏名	合計	アウト	イン	順位
A クラス	山 下 繁	84	43	41	
山 寺 秀 夫	79	37	42		
小 林 棋 一郎	76	37	39	469	
B クラス	深 澤 真 義	77	39	38	
中 井 敦 尋	77	36	41		
渡 辺 元 嗣	76	37	39		
岩 波 聰	77	38	39		
岩 波 聰	77	38	39		

(チーム平均ストローク=79.50)

19位 グランステージカントリークラブ 先子コース 得点478</p

新規加盟俱楽部紹介

サミットゴルフクラブ



1. 俱楽部名 サミットゴルフクラブ
住 所 茨城県新治郡八郷町嘉良寿理139
電 話 0299-44-1234
2. 開場年月日 平成4年5月24日
3. 理事長名 伊藤 正 (T 11.1.6)
4. 俱楽部分科委員長 選任中
5. 支配人名 堀 俊晴 (S 12.7.11)
6. 俱楽部概要

当クラブは茨城県中央部名峰筑波山の東側に位置し、常盤自動車道千代田・石岡IC並びにJR常磐線石岡駅か

ら12km（約15分）のアクセスとなっております。コースは故三好徳行氏並びに戸張捷氏の設計・監修で総面積1,030km²、18ホールズ、7,011ヤード、パー72の本格的チャンピオンコースとなっております。

コース内の高低差が20m以内と極めてフラットであり、雄大なレイアウトの中、思い切ったプレーが楽しめます。グリーンはペントのワングリーンで広さは平均で700m²、最大1,000m²と大きく、アンジュレーションも厳しく、グリーン上のプレーの難しさも当クラブの特徴の一つとなっております。

「挑戦意欲をかき立ててくれるコースこそ、最高のもてなしである。」をグランドデザインとし、フロントナインはグラスバンカーやグラスリバーを活かした男性的でダイナミックなイメージを追求し、バックナインは水と緑の美しさを強調し、かつハイレベルの戦略性が秘められております。

クラブハウスは7,700m²の延べ面積と全体的にゆったりしており、落着があり格調の高いムードを醸し出しております。ご来場の方々に心よりお楽しみ戴いております。

✿ ホールインワンしたらチャリティしよう ✿

UNHCR（国連難民高等弁務官事務所）より感謝状がときました。

ご承知のようにKGAでは、「ゴルフを通じ国際貢献、社会貢献しよう」を合言葉に、チャリティ募金、寄金を行っております。

関東オープンでは、加盟俱楽部、競技会場に黄色のチャリティ・ボックス”を置き、ゴルファー、ギャラリーによりかけ協力をお願いしております。

また、KGAニュースで、“ホールインワンしたらチャリティしよう”をよびかけましたところ、これまで13名のみなさまが応えてくれました。

連盟主催競技だけでなく、加盟俱楽部での一般的なプレーでのホールインワンでもご寄付いただいた例もあります。今年に入って、原延瑠（湯ヶ原）、富澤俊雄（武藏）、室伏健二（東名）の3名の皆様にご寄付いただきました。

また、ホールインワンだけでなく、この主旨に賛同いただき、プライベートコンペで有志一同の名でご寄付いただいた例もあります。

長野県女子有志一同53名（代表小林朋子さん）の例です。

加藤勝栄さんは「関東女子特別表彰」（決勝出場10回）を受けましたが、「私が平和な日本でゴルフをエンジョイできることへの感謝を込めて」とのコメントがそえられて寄金された例もあります。

KGAではこれからもこのチャリティ活動はつづけます。

皆さんのご協力をお願いします。



分科委員会

平成6年度 第2回月例競技委員会
議事録

日 時 平成6年6月8日(水) 12時30分
場 所 KGA会議室
出席者 斎藤委員長、山崎副委員長、平山、小池、松井、額賀、岡田、岡野、桜井、嶋田各委員、学生連盟委員

—討議及び決議事項—

1. 6月度競技報告及び総括
山崎副委員長より下記の報告及び総括がなされた。
「梅雨の前で天気が心配されたが、好天に恵まれた。コースコンディションは良好、順調に競技は行われた。参加者が176名と多かった為、1ホール毎に詰まってしまう状況が多かった。ミーティングでは紅露昭通氏が出席され、来年度関東女子選手権についてお話をいたいただいた。支配人以下、従業員の方々も早朝よりお手伝いいただき感謝にたえない。エントリー数は以下のとおり
開 催 日 平成6年6月3日(金)
コ ー ス 筑波カントリークラブ
エントリー 183名（男子139名、女子44名）

欠席者数
事前連絡 7名（男子7名）
当日連絡 1名（男子1名）
無断欠席 0名
出場者数
176名（男子132名、女子44名）

科 別 者 0名
ミーティング欠席 0名
失 格 者 1名
棄 権 社 0名
次回ブレーオフ なし

2. 6月・7月出場資格者数確認の件
男子537名（-9） 女子207名（-16）
3. 7月のテーマ
・ボールマークの修復の徹底
・ティ・グラウンド前方を横切らない

平成6年度 第1回グリーン委員会
議事録

日 時 平成6年6月21日(火) 17時
場 所 ダイヤモンドホテル
出席者 古賀委員長、相澤、海老原、藤原、福山、萩原、平林、平木、川又、古谷野、坂本、鈴木各委員

—討議及び決議事項—

1. KGAニュースNO.46総括

次記の総括が各委員会よりなされ、これを確認した。
今号は競技開始前の号であったため、地味な内容となったが、細川理事長の巻頭言、ハンディキャップ座談会等有意義な記事を掲載することができた。

また、一般ゴルファーより、表紙写真及びジュニアスクール写真にマナーに反するジュニアの姿が撮影されていることが注意された。このことはKGAニュースが多くのゴルファーの目に止まっていることの証ともいえるが、反面、取材・編集上、今後十分注意することを確認した。

2. KGAニュースNO.47編集企画案
事務局案を確認した。

また、巻頭言は、年会費問題について、広報委員会名にて、杉山委員が執筆することとなつた。
本件については、次号、次々号にすることでもテーマを定めて掲載することを確認した。

平成6年度 第1回グリーン委員会
議事録

日 時 平成6年6月21日(火) 17時
場 所 ダイヤモンドホテル
出席者 古賀委員長、相澤、海老原、藤原、福山、萩原、平林、平木、川又、古谷野、坂本、鈴木各委員

—討議及び決議事項—

1. 6年度春季KGAグリーン研究講習会について
同日13時より開催された標記の件について、事務局より次記報告がなされ、これを確認した。

「受講者は、141俱楽部168人であった。いつもより人が少なかったのは、芝草管理技術者認定制度受験に必要な単位とならないためと思われる。これがこのコースメンティナンスで管理に必要なテーマであったため熱心に受講」「質疑応答がなされた」

2. 芝草管理技術者認定制度の今後にについて、古賀委員より芝草開発機構の今後の活動、予定について報告説明がなされ、これを確認。当委員会としても協力することとなつた。

また、必要ならば今回の講習受講者に単位を与えることとした。

平成6年度 第2回コース・レート委員会
議事録

日 時 平成6年6月24日(金) 正午
場 所 KGA 会議室
出席者 新井委員長、諸戸副委員長、生田、中川、岡田、大久保、阪田、佐久間各委員、福田顧問

—討議及び決議事項—

1. 米原カントリークラブ以下12俱楽部のコース・レートについて、机上配布の資料をもとに次記のように決定した。

- (1) 米原カントリークラブ
ベントグリーン
パック・ティ 72.4
レギュラー・ティ 70.3
フロント・ティ 67.7

- (2) 東千葉カントリー俱楽部
西コース
ライトグリーン
パック・ティ 71.5
レギュラー・ティ 69.7
フロント・ティ 67.0
レフトグリーン
パック・ティ 71.5
レギュラー・ティ 69.6
フロント・ティ 66.9

- (3) オリムピックカントリークラブ
イーストアウト・イーストイン
ベントグリーン
パック・ティ 72.5
レギュラー・ティ 69.7
フロント・ティ 67.5

- イーストアウト・ウェスト
ベントグリーン
パック・ティ 70.9
レギュラー・ティ 69.0
フロント・ティ 66.8

- イーストアウト・ウェスト
ベントグリーン
パック・ティ 71.6
レギュラー・ティ 69.2
フロント・ティ 66.8

- (4) 霞台カントリークラブ
霞コース
ベントグリーン
パック・ティ 70.0
レギュラー・ティ 68.5
フロント・ティ 67.1

分科委員会

コーライグリーン	レギュラー・ティ	70.5	レギュラー・ティ	70.2
バック・ティ	フロント・ティ	69.4	フロント・ティ	69.2
レギュラー・ティ	りんどう・あじさい		コーライグリーン	
フロント・ティ	ペントグリーン		バック・ティ	73.5
(5) 霞台カントリークラブ	バック・ティ	72.0	レギュラー・ティ	71.6
筑波コース	レギュラー・ティ	70.3	フロント・ティ	70.1
ペントグリーン	フロント・ティ	68.9	(12) 霞ヶ関カントリー倶楽部	
バック・ティ	つつじ・あじさい		東コース	
レギュラー・ティ	ペントグリーン		オールドグリーン	
フロント・ティ	バック・ティ	71.2	バック・ティ	73.2
コーライグリーン	レギュラー・ティ	69.5	レギュラー・ティ	71.1
バック・ティ	フロント・ティ	68.2	フロント・ティ	69.2
レギュラー・ティ	(9) 鳴沢ゴルフ倶楽部		ニューグリーン	
フロント・ティ	ペントグリーン		バック・ティ	71.9
(6) イーストウッドカントリー倶楽部	バック・ティ	72.4	レギュラー・ティ	69.8
ペントグリーン	レギュラー・ティ	69.0	フロント・ティ	68.4
バック・ティ	フロント・ティ	66.0	2. 6月24日現在申請中の越後ゴルフ	
レギュラー・ティ	(10) 笠間カントリークラブ		倶楽部以下8倶楽部について、	
フロント・ティ	ペントグリーン		査定日を以下のように決定した。	
(7) 那須ハイランドゴルククラブ	バック・ティ	72.1	越後ゴルフ倶楽部 7月26日(火)	
ペントグリーン	レギュラー・ティ	70.2	中峰ゴルフ倶楽部 7月26日(火)	
バック・ティ	フロント・ティ	68.4	那須グリーンコース倶楽部 9月1日(木)	
レギュラー・ティ	(11) 柴カントリークラブ		ロイヤルオークカントリー倶楽部 9月12日(月)	
フロント・ティ	すみれコース		富士カントリー富岡倶楽部 9月13日(火)	
(8) オリムピックカントリークラブ	(フロント・ティの机上調査ならび		サニーカントリークラブ 10月4日(火)	
りんどう・つづじ	にレギュラー・ティの修正査定)		ゴーディレイクスカントリークラブ 10月11日(火)	
ペントグリーン	ペントグリーン		美浦ゴルフ倶楽部 10月27日(木)	
バック・ティ	バック・ティ	72.0		
		72.2		

月例競技成績表

[平成6年度6月月例] 6月3日(金) 筑波カントリークラブ

[男子]				
順位	氏名	倶楽部	アウトイン	合計
1	室野 歩	新千葉	31 37	68
2	小久保武夫	藤岡	35 35	70
2	徳永 雅洋	ザ・レイクス	34 36	70
4	阪田 哲男	袖ヶ浦	34 37	71
4	内藤 正幸	桜ヶ丘	37 34	71
4	室伏 健二	東名	35 36	71

コースレート72.0

[女子]				
順位	氏名	倶楽部	アウトイン	合計
1	小池 永子	宇都宮国際	36 39	75
2	西門 美枝	紫塚	39 38	77
3	菊地恵美子	宇都宮	38 40	78
3	箱田 美樹	甘楽	39 39	78

コースレート69.8

お知らせ

関東ゴルフ連盟「加盟倶楽部便覧」の変更事項は次記のとおりです。訂正加筆をお願いいたします。

理事長
●高根カントリー倶楽部
(新) 松澤 卓二 (旧) 柳田 誠二郎
俱楽部代表者
●日本カントリークラブ
(新) 三輪 順也 (旧) 松代 純一
●サミットゴルフクラブ
(新) 伊藤 正 (新) 森岡 茂夫

支配人
●都留カントリークラブ
(新) 田中 康隆 (旧) 金子 文雄

東京事務所
●神奈川カントリークラブ
(新) 〒103 中央区日本橋人形町2-14-14
こうしんビル5F
TEL 03-3667-2511 FAX 03-3667-2592

会社名
●サンライズカントリークラブ
(株) サンライズカントリークラブ